

夜桜を新スポットに！ ～第3回芋生田夜桜散歩道～

3月28日（土）、上津田区一帯で、「芋生田夜桜散歩道」が開催されました。

このイベントは、地元住民で植えられた桜を新たなスポットとして楽しんでもらおうと地元の芋生田区の若手有志で結成された「ううだ青年会」が中心となり地域住民・団体の協力のもと開かれました。当日は、十町川沿いの桜並木をライトアップし、公民館では肥後にわかや歌・踊りの披露がされたほかお楽しみ抽選会が行われ、終始盛り上がりしていました。

来場者からは、「夜桜がきれいで、びっくりした。屋台やイベントも豊富で大変楽しかった。」といった声が聞かれました。



ライトアップされた夜桜

地域の宝 再発見！ ～8つの神様めぐり～

3月29日（日）、吉地地区で地元の観光名所を巡るバスツアーが開催されました。

この行事は、吉地地区の里づくり団体が、地元の人に地元の名所をよく知ってもらうために開催したものです。当日は約20人の参加者が、団体会長の小山 暁さん（下吉地）のガイドを受け、8つの神様と金栗四三翁の生家を巡りました。

山の中にある胃の神様に向かうときには、狭く険しい山道に苦戦する場面もありましたが、全員が8つの神様にお参りし、その由来やエピソードに聞き入っていました。参加者からは、「地元にあるのに詳しくは知らなかったの、この機会で見ることができてよかった。」など、喜びの声が上がっていました。



胃の神様を巡る参加者たち

消防団辞令交付式

新入団員30人 任期退職者 20人 27年度総員535人

4月5日（日）、和水町中央公民館で平成27年度消防団辞令交付式が行われました。

式の中で、高岡成輔団長（萩原）が、新入団員に辞令を交付しました。その後、新入団員は有明消防本部職員の指導のもと、初めて、消防規律訓練を受けました。

また、長年にわたり、消防団員として活躍され、今回任期退職される消防団員に退職辞令の交付や感謝状・記念品の授与が行われました。

消防団員の今後の活躍に期待します。



退職団員への辞令交付

町内の子どもたちへ ～寄贈本の贈呈～

3月16日（月）、三加和中学校で、グラフィックデザイナー原賀隆一さん（64）の著書「ふるさと子供グラフィティ」の贈呈式が行われました。

原賀さんは和水町で幼少時代を過ごされた関係で本を寄贈され、今回は町内の小中学生と園児に対し、一人一冊配布されました。

この本は、昭和期のこどもの遊びや風習をイラストと文章で紹介したものです。

原賀さんは「昔の遊びを伝承してもらいたい。私は幼少時代に自然の中で遊んだ体験が今の幸せにもつながっている。参考にしてほしい。」と話されました。



原賀さんからの寄贈本「ふるさと子供グラフィティ」

古民家の伝統や技術に触れる！

3月14日（土）・15日（日）・21（土）、馬場区で空き家再生講座が開催されました。

この事業は、空き家を通して、伝統家屋の素晴らしさや地元の職人の技を知ってもらい、あるものを活かしてもらいたい、と元地域おこし協力隊の柳原志保さん（馬場）が主催しました。古民家再生のカリスマによる講演会や地元職人による釘打ち、床張りなどの大工体験、左官体験などを行いました。

3日間でおおよそ180人が参加し、参加者からは、「古いものを生かすことが、人とのつながりや愛着、心の癒しにつながると感じた」など、喜びの声が多数上がっていました。



地元職人による釘打ち体験の様子

重点「道の駅」候補の選定証が手渡されました

3月26日（木）、道の駅きくすいに対する重点「道の駅」候補選定証が福原町長に手渡されました。

道の駅きくすいは、1月末に重点「道の駅」候補として、国土交通省から選定されました。重点候補に選ばれている道の駅は、全国に49カ所あります。そのうち、熊本県では、きくすいと阿蘇の2カ所が選定されています。

今後道の駅きくすいが地域活性化の拠点として農産物の直販や飲食、レジャーなど、さまざまな場面で活用されるように関係機関と連携して、努力していきます。



認定証をもらう町長